

九州数学教育会会員 様
九州地区各教育委員長 様
九州地区各学校長 様
九州算数・数学担当者 様

令和5年6月10日
主催 公益社団法人九州数学教育会
熊本県数学教育会
後援 公益社団法人日本数学教育学会
熊本県教育委員会
熊本市教育委員会
(公財)日本教育公務員弘済会熊本支部



第77回九州数学教育会総会並びに 九州算数・数学教育研究(熊本)大会

開催ご案内 第2次案内(最終)

令和5年7月26日・27日・28日、熊本市において標記の大会(略称:九数教熊本大会)を開催いたします。この大会は九州全県の小・中・高等学校及び大学等の算数・数学教育に携わる教職員が一堂に会し、日頃の研究や実践を発表・協議する大会で、昭和22年に熊本市で第1回研究大会を開催して以来毎年九州各県を持ち回る形で開催され、多くの関係者の手により発展してまいりました。学習指導要領の改訂に伴い、各学校においては、その趣旨を踏まえて、試行錯誤をしながら実りある教育活動の実践がなされていることと思います。そして、今後さらに工夫・改善を図り、発展させていく段階に入っていくことになるでしょう。こうした中、熊本市で算数・数学教育研究大会が開催できますことは、誠に意義深いことです。

さて、本大会では、全体の研究主題を「新時代の開拓に資する思考力・表現力を育む算数・数学教育」といたしました。算数・数学教育を通して、児童・生徒が物事を自ら考え、課題に対して自分自身で答えを見つけ、生涯を通じて主体的に学び続ける態度を身に付けることで自立して生きていくことができるようにしたい、という思いを研究主題に込めております。ご参加いただく先生方同士で有意義な情報交換をし、意見を交わして、研究主題に沿う教育活動の実践につなげていただくことを願っております。

つきましては、本大会の趣旨や意義をご理解の上、関係の先生方の多数のご参加をいただきますようご案内申し上げます。

九州数学教育会会長 添田 佳伸

熊本大会実行委員長 原岡 喜重

1 研究主題 「新時代の開拓に資する思考力・表現力を育む算数・数学教育」

2 日程

| 月日 | 行 事 | | |
|----------------------|--|-------------------|-------------------------|
| 7/26 (水) | (会場)熊本ホテルキャッスル | | |
| | 13:00 理事会前事務局長会議(50) | | |
| | 14:00 九州数学教育会理事会(50) | | |
| 7/27 (木) | 15:00 第1回算数・数学教育研修会(60) | | |
| | 数学講演 演題 「数学を学ぶことの意味を考える」 講師 城西大学 数理・データサイエンスセンター特任教授 原岡 喜重 | | |
| | 16:00 九州数学教育会総会・代表委員会(80) | | |
| 7/27 (木) | 18:00 レセプション | | |
| | (会場)熊本市民会館シアーズホーム夢ホール | | |
| | 8:30 受付(30) | | |
| | 9:00 開会行事(30) | | |
| | 9:30 全体講演(60) | | |
| | 演題 「スポーツの力を舐めていて失敗を繰り返した『しくじり神田先生からの教訓 ～スポーツチームは公共財～』」 講師 火の国サラマンダーズ代表取締役 神田 康範 氏 | | |
| | 10:30 諸連絡(5) | | |
| | 小学校部会 | 中学校部会 | 高等学校部会 |
| | (会場)熊本市民会館シアーズホーム夢ホール | (会場)熊本城ホール3F会議室 | (会場)熊本城ホール3F会議室 |
| | 11:10 部会開会行事(15) | 11:20 部会開会行事(15) | 11:20 部会開会行事(15) |
| 11:25 部会講演(60) | 11:35 部会講演(60) | 11:35 部会講演(60) | |
| 12:25 移動・昼食 | 12:35 移動・昼食 | 12:35 移動・昼食 | |
| (会場)熊本市民会館、熊本市国際交流会館 | (会場)熊本城ホール3F会議室 | (会場)熊本県立第一高等学校 | |
| 13:40 分科会 | 13:50 分科会 | 13:50 分科会 | |
| 13:40 第一発表(40) | 13:50 第一発表(50) | 13:50 第一発表(40) | |
| 14:30 第二発表(40) | 14:50 第二発表(50) | 14:40 第二発表(40) | |
| 15:20 第三発表(40) | 15:50 第三発表(50) | 15:30 第三発表(40) | |
| 16:10 第四発表(40) | 16:40 終了 | 16:20 第四発表(40) | |
| 16:50 終了 | | 17:00 終了 | |
| 7/28 (金) | (会場)熊本大学教育学部附属小学校 | (会場)熊本大学教育学部附属中学校 | (会場)熊本県立第一高等学校 |
| | 8:30 受付(30) | 8:30 受付(30) | 9:00 受付(30) |
| | 9:00 公開授業①(45) | 9:00 公開授業①(50) | 9:30 授業動画を活用した授業研究(120) |
| | 10:00 公開授業②(45) | 10:10 公開授業②(50) | 11:30 終了 |
| | 11:00 授業研究(60) | 11:15 授業研究(60) | |
| | 12:00 終了 | 12:15 終了 | |

※高専・大学部会は、両日も高等学校部会に合流してください。

全体講演

演題「スポーツの力を舐めていて失敗を繰り返した

『しくじり神田先生からの教訓 ～スポーツチームは公共財～』

講師：神田 康範 氏（火の国サラマンダーズ代表取締役）
【プロフィール】



熊本県立済々黌高等学校卒業、大阪外国語大学卒業（現大阪大学外国語学部）。高校時代は野球部に所属。大学卒業後ブリヂストンスポーツに入社し、アメリカでゴルフのマーケティングに携わる。帰国後サニーサイドアップを経て、本田圭佑氏の所属事務所 HONDA ESTILO の執行役員に就任。本田氏の広告セールスやマネージャー業に従事した。本田氏が経営に関与するオーストリアの SV ホルンの CEO 兼副会長として運営に携わった。2019 年「火の国サラマンダーズ」の運営会社 KPB Project 株式会社の代表取締役に就任。現在、権田修一のマネージャーと広島県庁スポーツコミッションの代表を兼任している。

部会講演

小学校部会

演題「楽しい算数授業に必要な条件

—あなたの授業スタイルで大丈夫ですか？—」

講師：尾崎 正彦 氏（関西大学初等部教諭）

【プロフィール】



新潟県佐渡郡佐和田町（現・佐渡市）生まれ。新潟県内公立小学校勤務を経て、現在、関西大学初等部教諭。リクルート・スタディサプリ講師（小学校算数基礎講座）。全国算数授業研究会常任理事。新潟市教育委員会認定・第1期マイスター教師（算数）。「教育奨励賞」と「文部科学大臣賞」を受賞。「算数の学校ができるまで ふつうの学校が挑んだ授業改革」（東洋館出版）、「図解 算数の授業デザイン」（明治図書）など著書を多数執筆している。

中学校部会

演題「数学的な見方・考え方を働かせて深い学びを実現する数学授業の在り方」

講師：玉置 崇 氏（岐阜聖徳学園大学教育学部教授）

【プロフィール】



1979年 愛知教育大学教育学部数学科卒業後、小、中学校で教諭を務める
1990年 愛知教育大学附属名古屋中学校文部教官 その後教頭、校長を歴任
2007年 愛知県教育委員会義務教育課指導主事 その後主査、事務所長を歴任
2012年 小牧市立小牧中学校長
2015年 岐阜聖徳学園大学教授（現在に至る） 専門：数学教育
1975年より落語家愛狂亭三楽としても活動

高等学校部会

演題「新しい数学「圏論」を量子化学者が使って見えてきたもの」

講師：中村 振一郎 氏（熊本大学大学院先端機構特任教授）

【プロフィール】



熊本県生まれ。1984 年早稲田大学を経てストラスブール大学(仏)理学博士。分子科学研究所、三菱化成(現・三菱ケミカル)、理化学研究所(この間、東京工業大学教授を兼任)を経て 2022 年より熊本大学大学院先端機構特任教授。

《共著・監修》

「計算科学のフロンティア」(近代科学社)、「計算ナノ科学」(近代科学社)、「分子の音」(毎日新聞社)

◆ 小学校部会

| | | | |
|------------|------|--|-------------|
| 27日 (木) | 開会行事 | 会場：熊本市市民会館シアーズホーム夢ホール | 11:10～11:25 |
| | 部会講演 | 演題：「楽しい算数授業に必要な条件—あなたの授業スタイルで大丈夫ですか—」 講師：関西大学初等部 尾崎 正彦 先生 | 11:25～12:25 |
| | 分科会 | 会場：熊本市市民会館シアーズホーム夢ホール および 熊本市国際交流会館会議室 | 13:40～16:50 |

部会研究主題

「数学的活動がサイクルする楽しい算数授業」

| 分科会 | 発表題目 | 発表者 | 所属 | 発表県 | 指導助言者 |
|---------------|---|----------------|----------------|-----|--|
| 1 教育課程 | 自ら「数学的」に探究する子どもを育む算数学習 ～問題場面の開発，対話を通じた課題解決，振り返りを促す工夫を通して～ | 東野 臣祐 | 熊本大学教育学部附属小学校 | 熊本 | 木村 国広 (長崎大学) 余宮 忠義 (楡木小) |
| | 『全ての子どもにわかる楽しい算数授業はどうあればよいか』 ～子どもの思考を助ける単元を通じた教具の活用～ | 兼子 集 | 竹田市立南部小学校 | 大分 | |
| | 『主体的・対話的に学び，確かな学力を身に付ける児童の育成』 ～学びの質を高める授業改善と基礎・基本の定着を図る教育課程の工夫～ | 伊地知 朱里 | 宮崎市立木花小学校 | 宮崎 | |
| | 『自ら学びを深める児童の育成』 ～「わかる」「できる」を実感させる授業づくりを中心に～ | 龍治 宣彦 | 新上五島町立青方小学校 | 長崎 | |
| 2 学習指導法と評価 | 『算数科における子どもの主体的な学びを促す学習指導に関する研究』 ～「問い」を軸とした授業の実践を通して～ | 植野 大郎 | 日南市立鉄肥小学校 | 宮崎 | 木根 主税 (宮崎大学) 宮崎 裕介 (河内小) |
| | 学習意欲を高め，数学的見方・考え方を育てる授業をととした，主体的に学ぶ態度の育成』～「主体的に学習に取り組む態度」の評価をととして～ | 橋本 祥子 | 八代市立太田郷小学校 | 熊本 | |
| | 『算数科における学び合い活動の充実を目指して』 ～学び合いを中心とした2年間の校内研究を通して～ | 前山 純平 | 伊万里市立二里小学校 | 佐賀 | |
| 3 数と計算 | 『第4学年「概数」の導入授業における一考察』 ～新聞の一面を活用した授業の提案～ | 新城 喬之 | 那覇市立那覇小学校 | 沖縄 | 和田 信哉 (鹿児島大学) 米村 一雄 (白坪小) |
| | 『ICTを活用した数と計算領域の学習指導』 ～第2学年「かけ算」の実践を通して～ | 近藤 明日美 | 福岡市立博多小学校 | 福岡 | |
| | 『学ぶ楽しさを味わわせながら，学びがサイクルする算数科の授業』 ～4年「数と計算」領域における数学的活動を取り入れた授業改善の工夫～ | 木村 真紀子 | 甲佐町立甲佐小学校 | 熊本 | |
| | 『数学的表現と式を関連付けて計算の意味を捉え，それも基に説明したり解釈したりできる子供の育成』 ～「数学的に表現し伝え合う活動の工夫とICT機器の効果的な活用を通して～ | 松元 ひかり | いちき串木野市立串木野小学校 | 鹿児島 | |
| 4 図形 | 『主体的・対話的で深い学びを追求する算数科学習指導の研究』 ～ICT機器を活用した自力解決・共同思考場面の設定を通して～ | 朝野 仁之 | 雲仙市立愛野小学校 | 長崎 | 大林 将呉 (佐賀大学) 松永 憲治 (城西小) |
| | 『図形概念を豊かに形成し，性質を活用する子どもの育成』 ～図形領域における「数学的な見方・考え方」に着目して～ | 豊田 海斗 | 知名町立下平川小学校 | 鹿児島 | |
| | 『第6学年「円の面積」の指導にあたって』 | 池上 俊輔 | 北九州市立今町小学校 | 福岡 | |
| | 『学ぶ楽しさを実感できる算数科授業の創造』 ～主体的に問い続け，学び合う子供の活動を通して～ | 安武 大志 | 西原村立山西小学校 | 熊本 | |
| 5 測定・変化と関係 | 子供が主体的に「問い」を持ち，学びが連続する算数の授業づくり ～「問える力」を育むためのカリキュラム・マネジメントの充実を通して～ | 須惠 祐也 | 水俣市立水俣第一小学校 | 熊本 | 川畷 道広 (大分大学) 川上 輝美 (桜木小) |
| | 『主体的・対話的で深い学びを実現する算数科授業の在り方』 ～「単元を貫く学習問題」の設定，「見通し」「振り返り」の工夫，「学び方」の共有～ | 門野 真司 | 松浦市立御厨小学校 | 長崎 | |
| | 『関数的な見方・考え方を育てる研究』 ～ともなって変わる2つの数量の関係を見だし表現できる児童の育成～ | 二川 諒 | 西之表市立上西小学校 | 鹿児島 | |
| | 『単位量当たりの大きさ』における思考力・判断力・表現力の育成 ～導入における指導の工夫と問題解決のための系統的な図の指導を通して～ | 根木 裕子 | 小城市立晴田小学校 | 佐賀 | |
| 6 データの活用 | 『批判的に考察する力を育む指導の在り方』 ～立場に分かれて対話し，比較検討する学習を通して～ | 中野 秀敏 | 佐賀市立中川副小学校 | 佐賀 | 森 力 (琉球大学) 江野 謙二 (力合西小) |
| | 『思考力・判断力・表現力を高める折れ線グラフの授業づくり』 ～提示の仕方を工夫して～ | 下原 英雄 | 熊本市立本荘小学校 | 熊本 | |
| | 『主体的に問題解決に向かう児童の育成』 ～シンキング・サイクルとICTを活用した授業づくりを通して～ | 新川 颯人 | 沖縄市立高原小学校 | 沖縄 | |
| | 『つながって愉しむ第6学年算数学習』 ～学習意欲を喚起する「資料の調べ方」の実践を通して～ | 高下 陽子 | 高原町立高原小学校 | 宮崎 | |
| 7 問題解決 | 『学びに向かう力』と『思考力・判断力・表現力』を育む算数科授業の創造 | 杜若 優香 児玉 俊子 | 津久見市立千怒小学校 | 大分 | 今井 一仁 (福岡教育大学) 吉井 貴寿 (熊本大学) |
| | 算数科における思考力，判断力，表現力等の育成 ～「数学的な見方・考え方を働かせた学び合いのある授業づくりを通して～ | 仲村渠 司 | 八重瀬町立白川小学校 | 沖縄 | |
| | 『わかる・できる・つながる算数授業の研究』 ～教師の仕掛け，発問，場の設定の工夫を通して～ | 高森 光宏 | 宇土市立走湯小学校 | 熊本 | |
| | 『数学的思考力を高める算数科授業づくり』 ～ICTの視認性，再現性，共有性を生かした教材の活用を通して～ | 藤本 森絵 | 志免町立志免東小学校 | 福岡 | |

| | | | |
|------------|--------------|------------------|------------|
| 28日 (金) | 公開授業 授業研究 | 会場：熊本大学教育学部附属小学校 | 9:00～12:00 |
|------------|--------------|------------------|------------|

| 学年 | 単元 | 授業者(所属) | 指導助言者(所属) |
|----|-----------------|----------------------|----------------------|
| 1年 | たしざんとひきざん | 辻 理恵(大津町立大津小学校) | 木根 主税(宮崎大学) |
| | たしざんとひきざん | 嶋崎 昂(熊本市立力合西小学校) | 余宮 忠義(楡木小学校) |
| 2年 | 計算のしかたをくふうしよう | 堀 有美(熊本市立出水南小学校) | 江野 謙二(力合西小学校) |
| | 100より大きい数をしらべよう | 嶋田 夏希(山鹿市立山鹿小学校) | 吉井 貴寿(熊本大学) |
| 3年 | 大きい数のしくみ | 廣田 健生(人吉市立人吉東小学校) | 和田 信哉(鹿児島大学) |
| | 分数 | 山口 翔乃介(熊本市立白川小学校) | 金井 義明(熊本大学大学院教育学研究科) |
| 4年 | 倍の見方 | 迫 祐紀子(熊本市立龍田小学校) | 川上 輝美(桜木小学校) |
| | 簡単な割合 | 内田 武瑠(熊本大学教育学部附属小学校) | 木村 国広(長崎大学) |
| 5年 | 合同な図形 | 松本 卓士(天草市立有明小学校) | 大林 将呉(佐賀大学) |
| | 図形の角 | 代口 成也(熊本市立帯山西小学校) | 松永 憲治(城西小学校) |
| 6年 | 比 | 中島 佑太(熊本市立池田小学校) | 坂本 英明(飽田東小学校) |
| | 比 | 子本 晃熙(玉名市立玉陵小学校) | 森 力(琉球大学) |

◆ 中学校部会

| | | | |
|------------|------|---|-------------|
| 27日 (木) | 開会行事 | 会場：熊本城ホール 3 F 会議室A1・A2 | 11:20～11:35 |
| | 部会講演 | 演題：「数学的な見方・考え方を働かせて深い学びを実現する数学授業の在り方」 講師：岐阜聖徳学園大学教育学部教授 玉置 崇 氏 | 11:35～12:35 |
| | 分科会 | 会場：熊本城ホール 3 F 会議室A1～A4, 中会議室C1・2, 中会議室D1・2, 中会議室E1・2 | 13:50～16:40 |

部会研究主題

「数学的な見方・考え方を働かせ、深い学びに向かう数学授業」

| 分科会 | 発表題目 | 発表者 | 所属 | 発表県 | 指導助言者 |
|--------------|---|----------------|---------------|-----|---------------------------------------|
| 1 教育課程 | 主体的・対話的で深い学びの実現を目指して～ICTコンテンツの有効的な活用を通して～ | 宮崎 悠太 | 八代市立第四中学校 | 熊本 | 米田 重和 (佐賀大学) 高木 徹 (五霊中) |
| | 数学を学ぶ「楽しさと動機」を意識した日々の授業づくりの研究～図形領域での授業実践を通して～ | 峰松 弘文 | 武雄市立川登中学校 | 佐賀 | |
| | 対話的な学びにつながる教育活動の充実～「単元の指導計画」の工夫を通して～ | 松田 知晃 | 臼杵市立西中学校 | 大分 | |
| 2 学習指導法・評価 | 未来の創り手に必要な資質・能力を育成する授業デザイン～「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を通して～ | 白石 圭太 | 鹿児島市立鹿児島玉龍中学校 | 鹿児島 | 山下 佳子 (長崎大学) 吉村 昇 (熊本大学) |
| | 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習指導法と評価の工夫～振り返りの活動を通して～ | 川添 圭祐 | 益城町立木山中学校 | 熊本 | |
| | 主体的に学習に取り組む態度における学習評価の在り方～パフォーマンス評価を位置付けた評価計画の作成を通して～ | 蔭山 達哉 | 福岡市立田隈中学校 | 福岡 | |
| 3 数と式 | 言語活動に視点をあてた数と式の指導～「学び合う活動」「書く活動」の充実を通して～ | 野田 啓子 | 武雄市立川登中学校 | 佐賀 | 清水 紀宏 (福岡教育大学) 坂本 一博 (玉名有明中) |
| | 深い学びの基盤となる知識・技能を育成する数学科学習指導～振り返りを中心とした単元構成を通して～ | 穴田 真一 | 飯塚市立二瀬中学校 | 福岡 | |
| | 学びをたのしみ、基礎的・基本的事項を理解し、技能が身につく数と式の指導～学び合い活動と効果的なICT活用を通して～ | 梅田 修 | 人吉市立第一中学校 | 熊本 | |
| 4 図形 | 図形領域における、主体的に学習に取り組む態度の評価方法の研究 | 竹宮 邦彦 | 宇土市立住吉中学校 | 熊本 | 三宮 知恭 (別府大学) 中川 泰宏 (熊本大学) |
| | 課題解決に主体的に取り組む、考えを伝え合う生徒の育成～図形領域において、数学的活動の充実を目指して～ | 柚木 彩 | 佐伯市立鶴谷中学校 | 大分 | |
| | 主体的に学び、根拠を明らかにし、深い学びに結びつける図形領域の授業づくり～ICT機器を活用した学び合いを通して～ | 大石 溪 | 佐世保市立山澄中学校 | 長崎 | |
| 5 関数 | 関数領域における学習指導の研究～体験的な活動を取り入れた問題解決的な学習過程の授業の確立を通して～ | 大川 潤 | 壱岐市立勝本中学校 | 長崎 | 日熊 隆則 (琉球大学) 松崎 輝彦 (水俣第一中) |
| | 関数領域における主体的な学びを生み出す授業づくり～「問題解決の授業」を軸とした授業改善～ | 濱田 亨 | 芦北町立佐敷中学校 | 熊本 | |
| | 数学的な思考力・判断力・表現力等の育成のための指導と評価の一体化～ゴールを見据えた単元計画と授業実践を通して～ | 安谷屋 傑 | 那覇市立真和志中学校 | 沖縄 | |
| 6 データの活用 | 四分位範囲と箱ひげ図の意義を実感し、表現力を高める指導～めあて・対話・振り返りを軸にした授業を通して～ | 山中 秀 | 熊本市立錦ヶ丘中学校 | 熊本 | 山口 武志 (鹿児島大学) 出崎 友英 (錦ヶ丘中) |
| | 自ら考え説明する力を高める教材の工夫と実践～批判的に考察し、伝え合う活動を通して～ | 岩瀬 幸一郎 | 宮崎市立高岡中学校 | 宮崎 | |
| | 「批判的に考察し数学的表現を用いて説明する力」を高める授業に関する実践的研究～数学的な見方・考え方を働かせることと言語活動の充実を中心に～ | 鹿島 啓太郎 | 日置市立伊集院北中学校 | 鹿児島 | |
| 7 数学的な見方・考え方 | 数学的な見方・考え方の育成を図るための学習指導の工夫～既習事項を振り返り、数学用語を用いた表現をする活動を通して～ | 前川 幸敬 (他1名) | えびの市立加久藤中学校 | 宮崎 | 添田 佳伸 (宮崎大学) 萩原 幸二 (熊本大学) |
| | 空間図形における論理的に考察する力を育む授業づくり～タブレット端末を活用した活動を通して～ | 宮良 用馬 | 石垣市立石垣中学校 | 沖縄 | |
| | 対話的な学びを通じた数学的な見方・考え方の育成～対話を促す手立ての工夫～ | 松崎 寛志 | 荒尾市立荒尾第四中学校 | 熊本 | |

| | | | |
|------------|--------------|------------------|------------|
| 28日 (金) | 公開授業 授業研究 | 会場：熊本大学教育学部附属中学校 | 9:00～12:15 |
|------------|--------------|------------------|------------|

| 学年 | 単元 | 授業者(所属) | 指導助言者(所属) |
|-----|---------|-----------------------|--------------|
| 1 年 | データの活用 | 宮崎 浩光 (熊本市立錦ヶ丘中学校) | 吉村 昇 (熊本大学) |
| | 正の数・負の数 | 末藤 美妃 (熊本大学教育学部附属中学校) | 萩原 幸二 (熊本大学) |
| 2 年 | 式の計算 | 有働 遥香 (熊本市立白川中学校) | 宮崎 誓 (熊本大学) |
| | 連立方程式 | 隈元 大揮 (熊本市立錦ヶ丘中学校) | 米田 重和 (佐賀大学) |
| 3 年 | 二次方程式 | 伊藤竜太郎 (熊本市立託麻中学校) | 松原 宰栄 (熊本大学) |
| | 平方根 | 野村 優寛 (菊陽町立菊陽中学校) | 中川 泰宏 (熊本大学) |

◆ 高等学校部会

| | | | |
|------------|------|--|-------------|
| 27日 (木) | 開会行事 | 会場：熊本城ホール 3 F 会議室A3・4 | 11:20～11:35 |
| | 部会講演 | 演題「新しい数学「圏論」を量子化学者が使って見えてきたもの」 講師：熊本大学 大学院先端機構特任教授 中村 振一郎 氏 | 11:35～12:35 |
| | 分科会 | 会場：熊本県立第一高等学校 | 13:50～17:00 |

部会研究主題

「主体的に考え、探究心を育む数学教育」

| 分科会 | 発表題目 | 発表者 | 所属 | 発表県 | 指導助言者 |
|--------------------------------------|---|----------------|--------------|-----|-------------------|
| A 教育課程 学習指導法・ 評価 | 新学習指導要領がスタートして | 久留主 智洋 | 鹿児島県立加世田高等学校 | 鹿児島 | 岩田 耕司 (福岡教育大学) |
| | 『ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくり』 ～「わかる授業」の実践をめざして～ | 前田 典和 (他2名) | 熊本県立岱志高等学校 | 熊本 | |
| | 定時制・通信制課程の教育課程移行期の取り組み | 時津 修史 | 大分県立爽風館高等学校 | 大分 | |
| | 教科を越えた横断的な授業展開 ～生徒の実態にあったカリキュラム・マネジメント～ | 山本 史幸 | 宮崎県立都城工業高校 | 宮崎 | |
| B 学習指導法・ 評価 | 生徒主体の授業における数学に対する意識と定着度合いの変化についての考察 | 坂本 健一 | 尚綱高等学校 | 熊本 | 松田 康雄 (長崎大学) |
| | 自らの学びを客観視することができる生徒の育成を目指した実践 ～OPPA(One Page Portfolio Assessment)の活用を通して～ | 柴田 克哉 | 福岡県立京都高等学校 | 福岡 | |
| | 10分間テストを活用し基礎学力の向上を目指す。 | 福山 浩和 | 慶誠高等学校 | 熊本 | |
| | 基礎基本の定着を図る取り組み | 藤原 雅光 | 長崎県立長崎北高等学校 | 長崎 | |
| C 学習指導法・ 評価 | 情報機器を使った授業の取り組みと観点別評価 | 藤井 謙一 | 中村学園三陽高等学校 | 福岡 | 大野 貴雄 (大分大学) |
| | ICTを活用した教科指導について | 南部 雄英 (他2名) | 熊本県立熊本工業高等学校 | 熊本 | |
| | スタディサプリを利用した反転授業とグループ学習の研究 | 森 雅俊・ 齋宮 玲 | 長崎県立西陵高等学校 | 長崎 | |
| | 観点別評価の可能性 | 竹市 祐樹 | 熊本県立八代工業高等学校 | 熊本 | |
| D 学習指導法・ 評価 | 『振り返り学習を通して、夢実現へ』 ～ 国公立大学合格を目指して～ | 長谷川 裕昭 | 秀岳館高等学校 | 熊本 | 山城 康一 (琉球大学) |
| | 知識を活用する力と数学的な表現を用いて説明する力を育む協調学習の授業づくり ～反転学習とジグソー法の手法を用いた学習活動を通して～ | 田中 千大 | 沖縄県立読谷高等学校 | 沖縄 | |
| | 看護科の取り組み ～医療に特化した計算～ | 平野 二郎 | 城北高等学校 | 熊本 | |
| | デジタル採点の活用 ～「働き方改革」の視点を超えて～ | 竹下 敦・ 林 昇平 | 長崎県立猶興館高等学校 | 長崎 | |
| E 学習指導法・ 評価 数学Ⅰ・A | 『数学科の授業におけるICTの使い方に関する一考察』 ～現行のICTの活用を見直す契機として～ | 岩崎 清隆 | 大分県立安心院高等学校 | 大分 | 橋永 貴弘 (佐賀大学) |
| | 個別最適な学びを促す指導実践 ～ポートフォリオとフィードバックテストを用いて～ | 今林 佑輔 | 佐賀県立唐津東高等学校 | 佐賀 | |
| | データの分析における授業法 ～情報リテラシーを身に付けるために～ | 田中 健太 | 尚志館高等学校 | 鹿児島 | |
| | 「数学的活動を円滑に進めるための授業の工夫 ～「図形と計量」におけるQuizizzと思考ツールの活用を通して～ | 阿嘉 博之 | 沖縄県立美里高等学校 | 沖縄 | |
| F 数学Ⅱ・B・C 数学Ⅲ 大学入試・ 自由研究 | 「統計的な推測」を授業するにあたって | 日吉 順司 | 弘学館高等学校 | 佐賀 | 山口 尚哉 (宮崎大学) |
| | 論理的思考力と数学の記述力を高める 数学科学習指導 ～解答言語化シートを用いた問題解決的な活動を通して～ | 野上 竜太郎 | 福岡県立福岡中央高等学校 | 福岡 | |
| | 「自ら考える力を育む『データ分析』の授業づくり ～PPDACサイクルを活用した教科等横断的な取組を通して～ | 小松 真澄 | 沖縄県立本部高等学校 | 沖縄 | |
| | 主体的・対話的で深い学びをめざした授業の実践例 | 和田 郁香 | 宮崎県立日南高校 | 宮崎 | |
| G 大学入試・ 自由研究 | 『共通テストのトリビアの種』 | 平川 英樹 | 大分県立佐伯豊南高等学校 | 大分 | 愛甲 正 (鹿児島大学) |
| | 基礎学力の定着に向けた本校の取り組み | 太田 智紀 | 宮崎県立宮崎工業高校 | 宮崎 | |
| | 数学の習熟度の高い生徒をさらに伸ばす指導について | 葛迫 隆栄 | 熊本県立熊本高等学校 | 熊本 | |
| | 『クォータニオンによる歯科技工における補綴物仮想模型:放物面 ($x-10)^2+y^2+z=1$ の切削加工シミュレーション』 | 精松 祐介 | 鹿児島工業高等専門学校 | 鹿児島 | |

| | | | |
|------------|--------------|---------------|------------|
| 28日 (金) | 公開授業 授業研究 | 会場：熊本県立第一高等学校 | 9:30～11:30 |
|------------|--------------|---------------|------------|

| 名称 | 学年 | 科目 | 単元 | 授業者(所属) | 指導助言者(所属) |
|-----|----|-----|--------|--------------------|---------------|
| 授業① | 2年 | 数学B | 数列 | 東 哲司(熊本県立熊本高等学校) | 杉崎 文亮(熊本大学) |
| 授業② | 1年 | 数学Ⅰ | 三角比 | 松田 伸也(熊本県立済々黌高等学校) | 松田 康雄(長崎大学) |
| 授業③ | 1年 | 数学Ⅰ | 2次関数 | 豊田 拓也(熊本県立第二高等学校) | 大野 貴雄(大分大学) |
| 授業④ | 1年 | 数学Ⅰ | データの分析 | 大谷 昇(熊本県立翔陽高等学校) | 岩田 耕司(福岡教育大学) |

3 大会申込 別紙「大会申込について」参照

九州算数・数学教育研究（熊本）大会申込特設サイトよりご申し込みください。

https://eventpay.jp/event_info/?shop_code=5850438792782837&EventCode=P455068850

申込締切：**令和5年7月18日（火）** 参加費の入金期限は20日までとなります。

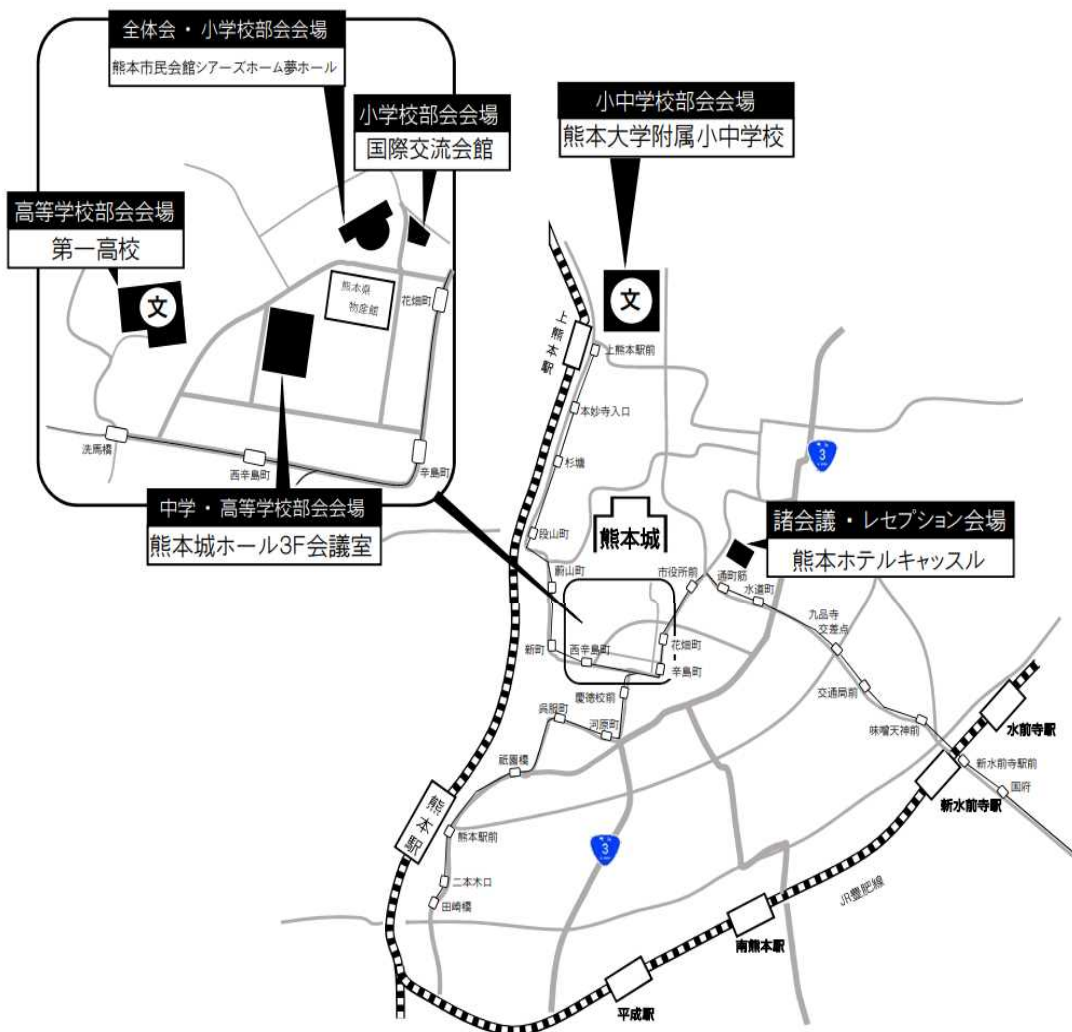
※詳細につきましては、別紙「九州算数・数学教育研究（熊本）大会大会申込について」をご参照ください。

4 参加費 5,000円

クレジットカード決済、コンビニ決済、ペイジー決済にてお支払いください。

【申込用QRコード】

こちらのQRコードから申込ができます。



| 会場 | 住所 | 連絡先 |
|--------------------|------------------|--------------|
| 熊本市市民会館シアーズホーム夢ホール | 熊本県熊本市中央区桜町1番3号 | 096-355-5235 |
| 熊本城ホール 3 F 会議室 | 熊本県熊本市中央区桜町3番40号 | 096-312-3737 |
| 熊本市国際交流会館 | 熊本市中央区花畑町4番18号 | 096-359-2020 |
| 熊本大学教育学部附属小学校 | 熊本市京町本丁5番12号 | 096-356-2492 |
| 熊本大学教育学部附属中学校 | 熊本市京町本丁5番12号 | 096-355-0375 |
| 熊本県立第一高等学校 | 熊本市中央区古城町3番1号 | 096-354-4933 |

| 事務局 | 代表 | 住所 | 連絡先 |
|-------------------|-------|-------------------|--------------|
| 本部 熊本県立熊本西高等学校 | 清水 陽介 | 熊本市西區城山大塘5丁目5番15号 | 096-329-3711 |
| 小学校 熊本市立小島小学校 | 本田 貴士 | 熊本市西區小島7丁目9番1号 | 096-329-0912 |
| 中学校 熊本大学教育学部附属中学校 | 河本 健二 | 熊本市京町本丁5番12号 | 096-355-0375 |
| 高校 熊本県立第一高等学校 | 前田 秋吐 | 熊本市中央区古城町3番1号 | 096-354-4933 |

※悪天候等により中止する場合は、下記HPにてお知らせいたします。
熊本県中学校数学教育研究会 <http://kumath-jh.sakura.ne.jp/>